



学校だより
**桜っ子
通信**

校訓
自ら学び
自ら考え
自ら行う

令和4年7月1日

第48号

長崎市立桜町小学校長

野中正樹

桜っ子の心を見つめる教育週間

先週、「桜っ子の心を見つめる教育週間」と開催したところ、道徳の授業参観を中心に多くの保護者の皆様にご来校いただき、感謝申し上げます。5日間の学校公開での来校者数は、のべ469名でした。

教育週間の初日に全校集会をリモートで行いました。その中で、私から次のような話をしました。「校長先生は、桜っ子の皆さんには、失敗を恐れずに、苦手なことにも挑戦してほしいと思っています。失敗から多くのことを学ぶこともあるので、何事にもやってみよう！という気持ちで取り組んでほしいと願っています。しかし、命にかかわること、命を危険にさらすようなことは、絶対にやってみようと思っはいけません。命は、一度、失うとけっして元に戻ることはありません。ですから、自分の命は自分で守ることはもちろん、自分の命と同じように、友達の命を大切にしてください。今日から始まる、桜っ子の心を見つめる教育週間を、一人一人が命について、しっかりと考え、自分の心を見つめる一週間にしましょう。」

各学年の実態に應じての道徳の授業は、いかがだったでしょうか。多くの子どもたちが、生命の尊さについて考えたり、いじめをなくすために、何をすべきか話し合ったりすることができていました。きっと、各ご家庭において、道徳の授業を振り返っての話題も出たのではないかと思います。桜っ子の教育週間は、終わりましたが、今後も、一人一人の命を大切にする教育を推進してまいります。

いっちゃんの楽しいコンサート

6月29日（水）長崎在住の音楽家、いっちゃんこと、市原隆靖さんをお迎えして、4年生から6年生を対象とした「いっちゃんの楽しいコンサート」を実施しました。オーボエによる「威風堂々」の演奏に始まり、「イパネマの娘」の素敵な演奏に合わせての先生方の華麗な（？）ダンスあり、ステージの上でノリのよい児童数人らと気持ちよく踊るフラッシュモブありと、楽しいコンサートとなりました。「ミッキーマウスクラブマーチ」のリコーダー奏では、たくさん練習してうまくなる、一生懸命努力をしてできるようになる、ことも大切だけど、いっちゃんは「自分だったらどうしたらもっと楽しくなるかな。おもしろくなるかな。」とあとひと工夫を考えるということでした。そこでいっちゃんは、ミッキーマウスの耳と手をつけてさらにリコーダーをもう1本加えての両手リコーダーの2重奏を演奏してくださいました。

今回のコンサートを締めくくって「夢・あこがれ・志」について、次のように話されました。

いっちゃんにも夢があってそれを叶えるために大切にすることが2つあるそうです。1つは、大切にしている漢字「謝」に関わることでした。この字に感を付けると「感謝」、罪をつけると「謝罪」。反対の意味のような気もしますが、どちらも自分の心の中から気持ちをこめて伝えることが大切な言葉です。いつも「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える人と、なかなか言えない人では、素直に言える人の方を応援したくなりますよね。そうなんです。みんなが応援してくれるから、がんばれる。がんばるからみんなが好きになる。そうやって、周りの人に助けられて夢はかなっていくものなんだと。そしてもう一つは、「自分を信じること」です。うまくいくときもいかないときも人間だからあります。そんな時でも、自分ならできるという強い気持ちを持ち続けることが大切だと話されました。

最後に6年生の大木陽世さんと辻本瞳さんが、4・5・6年生を代表して挨拶をしました。苦手に感じていた学習に取り組んでみようかなと思ったことや、暗いニュースの多い時代ですが明るい音楽をたくさんこれからも届けてくださいという感謝の気持ちを伝えてくれました。

今後の学校生活に向けて、子どもたちもたくさん心の栄養をいただきました。ありがとうございました。

安心メールは開封・確認を確実に！

6月21日（火）長崎市に大雨洪水警報が発令されたことを受けて、**当日の登校に関する桜町小安心メールを配信しましたが、約40通が未開封となっております。**桜町小安心メールは、児童の安全確保に関する重要なお知らせも配信しますので、できるだけ迅速に開封し、内容をご確認いただきますようお願いいたします。